



# 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年8月9日

上場会社名 株式会社 シャルレ

上場取引所 東

コード番号 9885 URL <http://www.charle.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥平 和良

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレートサービス部長 (氏名) 高田 博祐

TEL 078-792-8565

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第1四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	3,786	2.4	168	125.7	173	115.5	145	132.7
29年3月期第1四半期	3,879	1.5	74	68.4	80	67.3	62	74.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	9.03	
29年3月期第1四半期	3.26	

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	21,875	19,450	88.9	1,209.15
29年3月期	22,509	19,540	86.8	1,214.71

(参考)自己資本 30年3月期第1四半期 19,450百万円 29年3月期 19,540百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		15.00	15.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,800	2.2	480	79.5	490	73.2	260	83.0	16.16
通期	18,400	1.8	340	48.1	350	48.6	80	71.1	4.97

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	16,086,250 株	29年3月期	16,086,250 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	12 株	29年3月期	12 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	16,086,238 株	29年3月期1Q	19,165,436 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策を背景に、企業収益や雇用環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調にあるものの、中国をはじめとした新興国の景気減速や不安定な米国の政権運営や欧州の政治情勢、海外経済の不確実性の高まりなど、先行き不透明な状況で推移しました。

国内レディースインナーウェア市場におきましては、アジア圏における人件費の上昇や原材料価格の高騰など、依然として厳しい環境が続きました。

このような環境のもと、当社は、中期経営計画に基づき、「販売組織の活性化」、「ビジネスメンバーと顧客との接点強化」、「商品開発の強化」、「収益性の改善」、「新規事業の開拓・展開」に積極的に取り組んでまいりました。

商品面におきましては、衣料品類では、数量限定商品として、アウトターブランドである「シャルレ ドレッセ」より、夏向けのカットソー及びカーディガンを発売し、売上高は前年を上回りましたが、ウエルネス関連商材であるウォーキング用のカットソーが低調な販売推移となったため、アウトター類全体の売上高は前年を下回りました。生活支援に関連した商材として、UVカット加工を施した綿素材の「UVガーゼマフラー」を発売し、また前年に引き続き「シャルレウエルネス タウンシューズ」、「冷感敷きパッド」や「冷感ピローパッド」等の商品を発売しましたが、前年を大きく下回りました。以上の結果、衣料品類全体の売上高は29億2百万円(前年同四半期比7.0%減)と前年を下回りました。

化粧品類では、スキンケアブランドである「エタリテ」より、アルカリ還元水でメイクを落とせる「エタリテ クレンジング ローション」を発売しましたが、既存定番商品の売上高が減少したため、化粧品類全体の売上高は5億36百万円(前年同四半期比6.4%減)と前年を下回りました。

健康食品類では、当社初の機能性表示食品であり、睡眠の質の向上をサポートする機能性関与成分のGABAを配合した「すやサボGABA」を新たに発売しました。また、前事業年度の2月より特約店向け「定期お届け便」を導入したことや、メイト会員向け「定期お届け便」の利用者増加により、既存定番商品の売上高も好調に推移しました。これらの結果、健康食品全体の売上高は2億69百万円(前年同四半期比154.3%増)と前年を大きく上回りました。

営業施策面におきましては、5月に全代理店を対象とした「第34回シャルレ代理店セミナー」を開催し、中期の経営方針や各種施策等の共有を図りました。また、ビジネスメンバーの育成強化を目的とした新インセンティブ制度を4月より運用開始するとともに、新規メイト会員の拡大を目的とした「春の試着会促進策(4月～5月)」を実施した結果、メイト会員人数は増加しました。さらに、前事業年度に実施しました「チャレンジコンテスト2016」に入賞したビジネスメンバーを対象に「シャルレクルーズ特別ツアー2017」を6月に実施し、ビジネスメンバーの活動意欲の向上に繋げてまいりました。

通信販売の「シャルレダイレクトサービス」におきましては、訪問販売と融合したビジネス活動を推進するために、既存会員のリピート率の向上を目的とした販促キャンペーン等を実施したことにより、受注件数は増加しました。

中期経営計画の一環として、「女性の美と健康」をテーマに取り組んでいる新規事業におきましては、前事業年度の6月に、痩身エステとトレーニングを組み合わせた女性専用サロン事業である「モアレジーム」を出店し、また3月には、高齢者住宅の紹介事業である「カーネーション」の営業を開始する等、テスト展開しております。

これらの結果、当第1四半期累計期間における当社の売上高は、健康食品類は前年を上回ったものの、衣料品類及び化粧品類の売上高が低調に推移したことなどが影響し、37億86百万円(前年同四半期比2.4%減)となりました。利益面につきましては、販売費及び一般管理費の抑制や発生時期のずれ等により、営業利益は1億68百万円(前年同四半期比125.7%増)、経常利益は1億73百万円(前年同四半期比115.5%増)、四半期純利益は1億45百万円(前年同四半期比132.7%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

総資産は、現金及び預金の減少6億44百万円、商品の増加46百万円等により前事業年度末に比べ6億34百万円減少して218億75百万円となりました。

負債は、未払金の減少2億81百万円、未払法人税等の減少3億4百万円、賞与引当金の減少1億20百万円等により、前事業年度末に比べ5億44百万円減少して24億24百万円となりました。

純資産は、利益配当金2億41百万円、四半期純利益1億45百万円等により、前事業年度末と比べ89百万円減少して194億50百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前事業年度末の86.8%から88.9%に上昇しました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年8月4日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,408	11,764
売掛金	78	104
商品	3,670	3,716
貯蔵品	65	45
繰延税金資産	350	324
その他	243	172
貸倒引当金	△13	△19
流動資産合計	16,803	16,107
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,187	1,169
土地	907	907
その他(純額)	455	534
有形固定資産合計	2,550	2,612
無形固定資産		
ソフトウェア	843	830
その他	15	14
無形固定資産合計	858	845
投資その他の資産		
投資有価証券	1,034	1,038
前払年金費用	803	826
繰延税金資産	89	90
その他	374	360
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	2,296	2,310
固定資産合計	5,705	5,767
資産合計	22,509	21,875

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	638	764
未払金	836	554
未払法人税等	326	21
賞与引当金	223	102
その他	330	372
流動負債合計	2,354	1,814
固定負債		
売上割戻引当金	198	195
退職給付引当金	312	312
その他	104	102
固定負債合計	615	609
負債合計	2,969	2,424
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,600	3,600
資本剰余金	4,897	4,897
利益剰余金	11,061	10,965
自己株式	△0	△0
株主資本合計	19,559	19,463
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△19	△13
評価・換算差額等合計	△19	△13
純資産合計	19,540	19,450
負債純資産合計	22,509	21,875

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	3,879	3,786
売上原価	1,958	1,888
売上総利益	1,921	1,898
販売費及び一般管理費	1,847	1,730
営業利益	74	168
営業外収益		
受取利息	0	0
有価証券利息	3	3
雑収入	3	2
営業外収益合計	7	5
営業外費用		
支払利息	0	0
雑損失	0	0
営業外費用合計	1	0
経常利益	80	173
特別利益		
関係会社清算益	27	-
特別利益合計	27	-
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税引前四半期純利益	107	173
法人税、住民税及び事業税	3	3
法人税等調整額	42	25
法人税等合計	45	28
四半期純利益	62	145

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。